

■ **緊急銃猟制度がスタート**
このような膠着状態にあっても、より予防的・迅速な対応が必要と考えられる場合に対応するため、「緊急銃猟」と呼ばれる制度が創設され、本年9月からスタートしました。この緊急銃猟を実施するため、市町村においてマニュアルを作成する必要があったことから、「花巻市クマ等の銃猟・麻醉捕獲に関する対応マ

地帯等(*3)や乗り物(電車や自動車など)の中などでは、銃猟による捕獲が禁止されていました。そのため、このような場所では原則として銃を発砲することができませんでしたが、人に危険が差し迫つている状況になった場合は、「警察官職務執行法」に基づき、警察官がハンターなどに発砲を命じることが可能となっていました。しかし、例えば、クマが家中や施設内に侵入して膠着状態にある場合は、人に危険が差し迫つているとはならず、警察官職務執行法による銃の発砲命令は出すことができません。

■ **警察官職務執行法による場合**
鳥獣保護管理法の場合、住居集合地域等(*3)や乗り物(電車や自動車など)の中などでは、銃猟による捕獲が禁止されていました。

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **クマの捕獲方法の選択**

市職員、実施隊員は、クマによる人身被害の可能性が切迫しているかなどを踏まえ、クマの捕獲方法を次の中から選択します。

■ **クマの捕獲の判断**

クマの出没に関する情報が寄せられると、市職員、実施隊員が速やかに現地調査を行い、クマの捕獲の必要性について判断します。

■ **緊急銃猟を実施する際の必要事項**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟対策チーム」を設置すること、また、そのチーム内の各班の役割について規定しています。

なお、緊急銃猟の実施の判断は市町村長が行うこととされていますが、本市の場合、より迅速に実施できるよう、市長が委任した農林部長(不在の場合は、農村林務課長)が緊急銃猟の実施の判断をできることとしています。

■ **農林部長による緊急銃猟の実施の判断**

農林部長は、緊急銃猟の実施の判断をした場合、「緊急銃猟対策チーム」の各班長にその旨を伝え、必要な人員の確保や準備を直ちに行うよう指示をします。また、花巻警察署の支援を受ける体制を確保するとともに、必要に応じて岩手県の支援を得ることとしています。

■ **緊急銃猟対策チームの各班の主な役割**

① **指揮班**：緊急銃猟に関する指揮全般を行います。

② **安全確保班**：弾丸が人または引火

する可能性がある場合の安全確保

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官職務執行法による場合**

警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能になりました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟対策チーム」を設置すること、また、そのチーム内の各班の役割について規定しています。

■ **農林部長による緊急銃猟の実施の判断**

農林部長は、緊急銃猟の実施の判断をした場合、「緊急銃猟対策チーム」の各班長にその旨を伝え、必要な人員の確保や準備を直ちに行うよう指示をします。また、花巻警察署の支援を受ける体制を確保するとともに、必要に応じて岩手県の支援を得ることとしています。

■ **緊急銃猟対策チームの各班の主な役割**

① **指揮班**：緊急銃猟に関する指揮全般を行います。

② **安全確保班**：弾丸が人または引火

する可能性がある場合の安全確保

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官職務執行法による場合**

警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能になりました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟対策チーム」を設置すること、また、そのチーム内の各班の役割について規定しています。

■ **農林部長による緊急銃猟の実施の判断**

農林部長は、緊急銃猟の実施の判断をした場合、「緊急銃猟対策チーム」の各班長にその旨を伝え、必要な人員の確保や準備を直ちに行うよう指示をします。また、花巻警察署の支援を受ける体制を確保するとともに、必要に応じて岩手県の支援を得ることとしています。

■ **緊急銃猟対策チームの各班の主な役割**

① **指揮班**：緊急銃猟に関する指揮全般を行います。

② **安全確保班**：弾丸が人または引火

する可能性がある場合の安全確保

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官職務執行法による場合**

警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能になりました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟対策チーム」を設置すること、また、そのチーム内の各班の役割について規定しています。

■ **農林部長による緊急銃猟の実施の判断**

農林部長は、緊急銃猟の実施の判断をした場合、「緊急銃猟対策チーム」の各班長にその旨を伝え、必要な人員の確保や準備を直ちに行うよう指示をします。また、花巻警察署の支援を受ける体制を確保するとともに、必要に応じて岩手県の支援を得ることとしています。

■ **緊急銃猟対策チームの各班の主な役割**

① **指揮班**：緊急銃猟に関する指揮全般を行います。

② **安全確保班**：弾丸が人または引火

する可能性がある場合の安全確保

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官職務執行法による場合**

警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能になりました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟対策チーム」を設置すること、また、そのチーム内の各班の役割について規定しています。

■ **農林部長による緊急銃猟の実施の判断**

農林部長は、緊急銃猟の実施の判断をした場合、「緊急銃猟対策チーム」の各班長にその旨を伝え、必要な人員の確保や準備を直ちに行うよう指示をします。また、花巻警察署の支援を受ける体制を確保するとともに、必要に応じて岩手県の支援を得ることとしています。

■ **緊急銃猟対策チームの各班の主な役割**

① **指揮班**：緊急銃猟に関する指揮全般を行います。

② **安全確保班**：弾丸が人または引火

する可能性がある場合の安全確保

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官職務執行法による場合**

警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能になりました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟対策チーム」を設置すること、また、そのチーム内の各班の役割について規定しています。

■ **農林部長による緊急銃猟の実施の判断**

農林部長は、緊急銃猟の実施の判断をした場合、「緊急銃猟対策チーム」の各班長にその旨を伝え、必要な人員の確保や準備を直ちに行うよう指示をします。また、花巻警察署の支援を受ける体制を確保するとともに、必要に応じて岩手県の支援を得ることとしています。

■ **緊急銃猟対策チームの各班の主な役割**

① **指揮班**：緊急銃猟に関する指揮全般を行います。

② **安全確保班**：弾丸が人または引火

する可能性がある場合の安全確保

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官職務執行法による場合**

警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能になりました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟対策チーム」を設置すること、また、そのチーム内の各班の役割について規定しています。

■ **農林部長による緊急銃猟の実施の判断**

農林部長は、緊急銃猟の実施の判断をした場合、「緊急銃猟対策チーム」の各班長にその旨を伝え、必要な人員の確保や準備を直ちに行うよう指示をします。また、花巻警察署の支援を受ける体制を確保するとともに、必要に応じて岩手県の支援を得ることとしています。

■ **緊急銃猟対策チームの各班の主な役割**

① **指揮班**：緊急銃猟に関する指揮全般を行います。

② **安全確保班**：弾丸が人または引火

する可能性がある場合の安全確保

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

に基づき、銃猟によるクマの捕獲ができました。

■ **警察官職務執行法による場合**

警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能になりました。

■ **警察官もライフル銃によるクマの駆除が可能に**

国家公安委員会規則の改正が11月13日に施行され、警察官によるライフル銃を使ったクマの駆除が可能となりました。岩手県警察と県外から派遣された銃器対策部隊で編制する「クマ駆除対応プロジェクトチーム」が始動し、ライフル銃を使ったクマの駆除も視野に県内の警戒や巡視を始めています。

■ **緊急銃猟によるクマの駆除**

緊急銃猟を実施することにした場合は、市職員を中心構成する「緊急銃猟